

2012/10/16 突撃 修学旅行レポート～だれも書かなかったもう1つの沖縄修学旅行の真実～ (本校ホームページより)

修学旅行のようすは、このホームページでも、また校長ブログでも掲載されています。生徒を引率し、旅行に同行した立場で、もう少し詳しいようすを書こうと考えました。タイトルの候補をいくつか考えました。「修学旅行の真実」、「もう一つの修学旅行」、「だれも書かなかった修学旅行」、「突撃修学旅行レポート」等、何名かの職員、添乗員さんにも聞きましたが、まとまりませんでしたので、

突撃 修学旅行レポート ～ だれも書かなかったもう1つの沖縄修学旅行の真実としました。結局すべてをあわせたものとなっています。

1日目(10月12日)

京成津田沼午前5時15分的高速バスを使用し、羽田空港第2ターミナルに着いたのは6時前でえした。参加予定者のうち、発熱による理由で欠席せざるを得なかった生徒が1名。本人が一番残念な思いだったと思います。

飛行機が離陸するとき(着陸するときもそうでしたが)、「ウワー」と悲鳴にも似た言葉が生徒の口々から発せられました。離陸が完了したときには、拍手が巻き起こりましたね。周り(前方)にいた一般客の方は、暖かい目で見守ってくれましたね。全体的に機内では、生徒は静かだったと思います。

1日目は、平和祈念公園、ひめゆりの塔、首里城等に出向きましたが、天気は終始曇りで、首里城では小雨が降り続いていました。なんと言っても平和講話が印象的でした。生徒たちは一言の私語を発することなく、講師の方の話に聞き入っていました。負傷兵の死や知人の死についての話を交えながら、実体験に基づきながらの「戦争のむごさ」のうったえに、ただただ生徒たちは平和について考えざるを得ない状況だったことと思いますね。

1日目、生徒たちの行動はとってもすばらしいものだったと思います。学年主任を先頭に職員もよく動き、また添乗員の方も臨機応変に対応していただきました。



2日目（10月13日）

午前中は、1日目に引き続き平和学習が行われました。ガマの体験は、天候の都合により、2カ所、見学先の変更がありました。ガマの中で、また慰霊碑を前にして、平和ガイドさんの話を聞きました。壕の中でどのように過ごしたのか、捕虜にならずに戦って死ぬこと、沖縄を戦いの場としたときのようすなど、戦争のむごさや理不尽さの話をとても真剣に聞いていました。修学旅行の目的の1つである、平和について真剣に考えるという目的は、この2日間で達成できたものと考えています。旅行期間中に地元の新聞に掲載されていた同じような内容の記事なども、今後生徒に読ませたいと考えています。今回、生徒たちや我々職員が感じたことをずっと忘れてはならないと思います。

道の駅かでなで休憩し、琉球村で沖縄そばの昼食、午後は美ら海水族館で楽しみました。ジンベザメの餌付けやイルカのショーなど、会場は超満員で、とても盛り上がっていました。

2日目ということもあり、室長は定刻の午後8時前には全員集まり、室長会議もスムーズに行われました。



3日目（10月14日）

修学旅行の目的の1つである体験学習が行われました。生徒たちにぜひとも体験させてあげたいものの、天候がからむため、天気予報とにらめっこ状態でした。予報は雨でしたが、なんとか曇りのまま進み、小雨がちらくつくこともありましたが、昼過ぎには太陽が顔を出し始めました。奇跡に近いことだと考えます。私が同行したのは、もとぶ村でたの体験ですが、キャンドルづくりでは、生徒たちは集中して非常に凝ったものをつくりあげていましたね。感心しました。イルカ体験では、イルカの動きやしぐさをみて、さらにからだに触れるなど、これも忘れられない体験となったはずです。「かわいい」、「さわり心地がよかった」、「家につれて帰りたい」など、イルカの魅力にメロメロになっている生徒でした。クルーズ体験では、海風を受けながら、とても気持ちよさそうな感じでしたね。実際に、珊瑚や泳いでいる魚をみて、生徒たちは、とても感動していました。午後は、お菓子づくり体験でつくったのが、紅芋ムーチャーとサーターアンダギーです。地元の方に指導していただき、とても上手につくることができました。食べきれずに持ち帰り、ホテルで食べている生徒もいました。

夕食までの間、ホテルの前のビーチで楽しむ生徒の姿がありました。砂浜でバレーボールを楽しんだり、水遊びをしたりと、ほとんどの生徒が浜へと繰り出したのではないかと思いますね。

夕食時の会話の中で、カヌーやシュノーケリングをしていた生徒のようすや、民家で、沖縄そばやお菓子づくりをし、いろいろな話を聞き、歌まで一緒に歌ったりと、とても楽しそうな話が次から次へと交わされていました。「自分の担当したところが一番たのしかった」と言い争う職員をみながら、生徒も職員も沖縄での体験活動を十分に楽しんでくれたことを考えるに、修学旅行の目的の1つが達成できたことを大変うれしく思っています。



4日目（10月15日）

参加者全員が無事に戻ってきました。

最終日の天気予報は数日前までは降水確率40～60%でしたが、当日は曇りの予報。確かに早朝の空はどんよりしていましたが、国際通りに向かうバスの中で、午前10時40分ごろから、太陽が顔を出し始め、その後は、ずっと晴れた、とても暑い沖縄らしい1日となりました。国際通りで、生徒たちは（職員も）、思い思いの土産を購入していました。月曜日にもかかわらず、とても多くの観光客を目にしました。首里天楼での昼食はバイキング。生徒たちはとても満足していましたね。

帰りの飛行機は多少遅れて出発したものの、午後5時に羽田空港に無事到着しました。

